

2015年 高連協「高齢者の社会参画に関する調査」(全国アンケート調査) 集計結果

■調査対象 高連協会員並びに関係者(退職高齢者等)

■調査方法 メール送信。メール及びFAX受信。

■調査期間 2015年2月20日～3月6日

■調査項目

●高齢者の社会参画

- ▶ 高齢者の社会参画の必要性
- ▶ 社会参画の内容
- ▶ 高齢者の社会参画の推進のための学習会を公的年金受給前に市区町村毎に催すべき。
- ▶ 「地域包括ケア」システムづくりについて

●生活・社会関連

- ▶ アベノミクスと生活状況
- ▶ 老後生活は年金と貯えで可能か。
- ▶ リバースモーゲージの普及
- ▶ 「中間層」意識の低落
- ▶ 消費増税先送りについて
- ▶ 「マイナンバー」制度について

●政治・選挙関連

- ▶ 選挙区制について
- ▶ 議員待遇について
- ▶ 憲法第9条改正への流れについて

■集計結果

受信数	回答数	有効回答		無効回答	
		人	%	人	%
	541	537	99.3	4	0.7

性別	回答者数	男性		女性		無回答・無効	
		人	%	人	%	人	%
	537	244	45.4	293	54.6	0	0.0

年齢	回答者数	60歳未満		60代前半		60代後半		70代前半		70代後半		80歳以上		無回答・無効	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%		
	537	82	15.3	62	11.5	87	16.2	125	23.3	120	22.3	61	11.4	0	0.0
男	244	38	15.6	25	10.2	31	12.7	54	22.1	68	27.9	28	11.5	0	0.0
女	293	44	15.0	37	12.6	56	19.1	71	24.2	52	17.8	33	11.3	0	0.0

■設問

●高齢者の社会参画

設問 『高齢者(定年退職後)の社会参画は必要だと思いますか。』

「大いに思っている」者 68.3%、「思っている」者 29.6%と97.9%の者が「必要だ」と思っています。

N=537	大いに思っている		思っている		あまり思わない		全く思わない		無回答・無効	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
【全体】	367	68.3	159	29.6	9	1.7	2	0.4	0	0.0

設問 『社会参画したい内容は』

「収入を問わないボランティア」53.3%。「収入のある仕事」を望む者も 43.2%ありますが、回答者は 60 代前半までの者が多いため、70 代以上では「ボランティア」の割合が高くなっています。

N=537	収入のある仕事		収入を問わない ボランティア		何もしたくない		無回答・無効	
	人	%	人	%	人	%	人	%
【全体】	232	43.2	286	53.3	18	3.3	1	0.2

設問 『高齢者の社会参画の推進(意識啓発)のためには、公的年金の受給前に学習会を市区町村毎に催すべき、とする考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。』

「賛成」と答えた者が74.1%と高い割合で、「反対」と答えた者は僅か5.4%。

N=537	賛成(催すべきだと思う)		反対		わからない		無回答・無効	
	人	%	人	%	人	%	人	%
【全体】	398	74.1	29	5.4	109	20.3	1	0.2

設問 『要介護者を地域で支え合う「地域包括ケア」システムづくりが進められていますが、あなたはどのように考えておられますか。』

初めての設問ですが、「地域包括ケア」の認識度が89%、驚くほどの高さです。

N=537	詳しく知りたいと思っている		出来れば手伝いたい		関心がない		無回答・無効	
	人	%	人	%	人	%	人	%
【全体】	247	46.0	230	42.8	58	10.8	2	0.4

●生活・社会関連

設問 『アベノミクスと言われる経済政策で、あなたの生活状況は』

3人に1人が「苦しくなった(なる)」と答え、年金生活者は取り残されているイメージ。「変わらない」と答えた者の中には、「仕方がない」と考える者が含まれています。

N=537	よくなった(なる)		変わらない		苦しくなった(なる)		無回答・無効	
	人	%	人	%	人	%	人	%
【全体】	23	4.3	335	62.4	179	33.3	0	0.0

設問 『あなたの老後生活は、年金と貯えでやっていけますか。』

前の設問と同じで、「やっていける」50.3%の中には、「やっていくよりない」思いの人々(特に70代後半以上に)が含まれています。

6年前までの調査対象者の「年金・収入」、「貯蓄」等の満足度と比べ(高連協ホームページ「調査対象者の基本属性」<生活満足度>参照)、今回の調査対象者の生活満足度はかなり低下していると思えますが……。

N=537	やっていける		やっていけそうにない		無理だ		無回答・無効	
	人	%	人	%	人	%	人	%
【全体】	270	50.3	198	36.8	67	12.5	2	0.4

設問 『住む家と宅地はあっても年金等の少ない高齢者の生活費を補填し、併せて若い人の住替にも寄与するリバースモーゲージのような施策を全国的に行う必要があると思いますか。』

「リバースモーゲージ」の認知度は非常に高い。「必要でない」者は僅か6%、農水産業、自由業の方でしょう。

N=537	必要である		必要ではない		わからない		無回答・無効	
	人	%	人	%	人	%	人	%
【全体】	342	63.7	32	6.0	163	30.3	0	0.0

設問 『日本は、中間層が国民の大多数という社会でしたが、最近は貧富の差が目立つ格差容認社会と言われています。あなたはどのようにお思いでしょうか。』

格差社会への偏向を71.7%の者が「悲しく思っている」という状況です。

N=537	悲しく思っている		仕方がない		わからない		無回答・無効	
	人	%	人	%	人	%	人	%
【全体】	385	71.7	107	19.9	43	8.0	2	0.4

設問 『「社会保障と税の一体改革」として消費税増税が行われていますが、消費税率アップを先送りにしたことをどうお思いでしょうか。』

消費増税先送りについては、5割の者が「仕方がない」としていますが、3割の者は「予定通り行うべきだった」としています。消費税増税は日本社会全体の健全化を図った実行計画であると考えている者が少なくないようです。まして、政権都合による先送りはあってはならないと多くのシニアは考えているからでしょう

N=537	予定通りに行うべきだった		仕方がない		わからない		無回答・無効	
	人	%	人	%	人	%	人	%
【全体】	163	30.3	276	51.4	95	17.7	3	0.6

設問 『2015年秋に導入される「マイナンバー」制度について、あなたはどうお考えですか。』

3人に1人は「わからない」と答えているようにPR不足の状況がうかがえます。

N=537	賛成		反対		わからない		無回答・無効	
	人	%	人	%	人	%	人	%
【全体】	212	39.5	146	27.2	178	33.1	1	0.2

●政治・選挙関連

設問 『現在の小選挙区制については、以前の中選挙区制に改めようという考え方がありますが、あなたのお考えは。』

シニアの大概は中選挙区制のようです。「小選挙区制」も四半世紀、制度による弊害も見えているからでしょう。

N=537	中選挙区制がよい		小選挙区制がよい		わからない		無回答・無効	
	人	%	人	%	人	%	人	%
【全体】	294	54.8	106	19.7	137	25.5	0	0.0

設問 『国会議員も地方議員も、その歳費等待遇を OECD 主要国並み(例:イギリス、フランス、スウェーデン等)に改めるべき、との考え方をどう思いますか。』

「日本の議員さん方、国際的な状況を少し見習ってください」と、77.3%の者が望んでいます。

N=537	賛成		反対		わからない		無回答・無効	
	人	%	人	%	人	%	人	%
【全体】	415	77.3	17	3.2	105	19.5	0	0.0

設問 『現状の推移から、憲法第9条の改正に政治は流れていると思いますが、この流れをあなたはどのように思いますか。』

憲法9条(平和憲法)を守りたいと希っている者が56%、「このままの流れでよい」とする者の2.5倍もいることを現政権も知って欲しい。

N=537	このままの流れでよい		流れを変えるべきだ		わからない		無回答・無効	
	人	%	人	%	人	%	人	%
【全体】	118	22.0	301	56.0	117	21.8	1	0.2

設問 『「終戦から70年という節目の年に当たり、(中略)、この機会に、満州事変に始まるこの戦争の歴史を十分に学び、今後の日本のあり方を考えていくことが、今、極めて大切なことだと思っています。」と天皇陛下は新年の感想を述べられました。戦中戦後を体験した高齢者として思うことを記述してください』等の回答は省略。